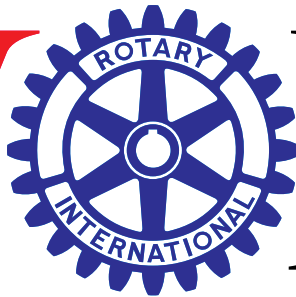


TWRC



2019～2020年度RIテーマ

ロータリーは世界をつなぐ
ROTARY CONNECTS THE WORLD

鳥取西ロータリークラブ週報 No.1865

鳥取西ロータリークラブ例会／毎週金曜日 12:30～13:30 ホテルニューオータニ鳥取
事務所／〒680-0822 鳥取市今町2-112 アクティ鳥取ビル2F Tel.0857-22-4418 Fax.0857-22-4419

[ホームページ] <http://www.twrc.jp> [Eメール] info@twrc.jp

創立／1980年6月13日 RI加盟承認・1980年8月6日 2019～2020年度国際ロータリー会長／マーク・ダニエル・マローニー

会長／岩崎陽一・副会長／油谷博文・幹事／児島 良・会計／米花廉友

2019～2020 THE ROTARY CLUB OF TOTTORI WEST WEEKLY REPORT

第1866回例会

2019年9月27日(金)12:30～13:30

点鐘

ロータリーソング “それでこそロータリー”

会食 (洋食)

会長会務

* ビジター紹介

* 職業奉仕について

ロータリーの創始者ポール・ハリスは、「ロータリーの会員は、その一人ひとりが、自分の職業とロータリーの理想とを結び環である」と書いています。ポール・ハリスは、この文章において、職業奉仕について直接触れているわけではありませんが、第二奉仕部門を念頭に置いていることは間違いありません。

なぜなら、ロータリーは職業分類の原則に基づく会員組織なので、ロータリアンと職業とを切り離して考えることができないからです。

クラブ会員は、自己の職業の代表者としてロータリークラブに入会したのですから、クラブに対しては自己の職業の代表者となり、ロータリアン以外の人に対しては、ロータリーの精神を普及する責務を負います。この二つの責務が職業奉仕の基盤となります。

* 9月の皆勤賞を差し上げます。

児島 良会員 8年 吉田 博会員 32年

幹事報告

* 地区大会のご案内を配布しています。

* 10月の主なスケジュール

10月 4日 (金) 定例理事会

10月11日 (金) クラブ奉仕委員長会議

10月18日 (金) 定款により休会

地区大会記念ゴルフ大会

10月20日 (日) 地区大会 (出雲)

* 例会後、臨時理事会を開催いたします。

委員会報告

* 親睦出席委員会

出席率・スマイル報告

年次総会

創立40周年について

先回(第1865回例会)の記録

2019年9月13日(金)12:30～13:30

会長会務

* 先日、李さん、蔡さん、山下聖児さん、吉田さん私とで米山奨学の勉強に行ってきました。(財)ロータリー米山記念奨学会は事業規模、採用数において民間で最大の奨学団体で日本に留学している外国人に対し奨学金を支給し、支援する団体です。目的は日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと世界に“平和日本”の理解を促すことにありました。

* 日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して東京RCにより「米山基金」が作られたのが始まりです。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き、「世界の架け橋」となることを願ってつくられたのです。

幹事報告

* 倉吉東RC 創立50周年記念式典のご案内。
11月3日(日) 12:30～倉吉シティホテル
会長・幹事が出席します。

* 例会変更のお知らせ

鳥取中央10月7日(月)→2日(水)職場訪問例会

ビジターの受付は定時定例会場にて

鳥取北 10月22日(火) 休会・祝日

* 東部5RC親睦ゴルフコンペのご案内

11月17日(日) 8:00集合 参加費3,000円

鳥取カントリー倶楽部吉岡温泉コース

* 米山記念奨学会よりカウンセラー所見提出のお願い。締め切りは10月末です。岡田、山下聖児会員お願い致します。

* 鳥取・鳥取北・鳥取中央RCよりクラブ活動・運営計画書。回覧致します。

* 10月11日(金) 例会場は「鶴の間」になります。

* 9月17日(火) 東部5RC事務局研修会の為
11:30～事務局留守になります。

出席率

9月13日 会員59名 欠席13名 65.52%

8月23日 メーキャップ 7名 94.83%

雑誌委員会

山下卓治会員
ロータリーの友8月号の紹介

ゴルフ同好会 平井会員

9月29日(日)第1回岩崎会長杯、木原会長杯取切戦を予定しています。11月17日(日)東部5RC合同ゴルフコンペは第2回岩崎会長杯を兼ねています。

2021年岩崎ガバナー年度地区大会記念ゴルフは旭国際にて150人規模にて行う予定です。

スマイル

- * 岩崎陽一会長・児島 良会員 / IDMの発表、よろしくお願ひ致します。
- * 吉田 博会員 / IDM第4班、内山リーダー、伊藤世話人、出席者の皆様、真面目なお話しありがとうございました。
- * 森下哲也会員 / 砂丘清掃お疲れ様でした。途中から山村委員長が見えなくなりましたが、しっかりと反省会を挙りました。
- * 山田光成会員 / 第1回IDMご参加くださった皆様、ありがとうございました。
- * 山下朋宏会員 / 第1回IDM4班の皆様、お世話になりました。
- * 内山 輝会員 / 伊藤世話人はじめIDM4班の皆様、まことにありがとうございました。冒頭の吉田塾大変勉強になりました。吉田さん、そして皆様、極めてまじめな食事会と非常にくださった2次会のギャップはとてとても楽しい時間でした。感謝です。また、宮本さん本日は何卒よろしくお願ひ致します。
- * 森本和夫会員 / とうとう後期高齢者の仲間入りをしました。先輩の方々宜しくお願ひします。
- * 牧浦康寛会員・山根宗信会員 / 結婚記念日。
- * 龍本浩志会員 / 結婚記念日 28年です。
- * 林 貴之会員 / 創業6年目です。頑張ります。IDMお世話になりました。
- * バッジ不携帯・早退2件 合計24,000円
- * R財団特別寄付: 1件
- * 米山特別寄付: 1件

クラブフォーラム「IDMの総括」

* 第1班 リーダー上野会員・世話人 大竹会員
青少年奉仕というテーマは漠然としていて難しく委員会を起ち上げて事業として展開していくのか、議論や討論を行い知識を深めるだけで良いのか、目指す方向を事前に示して欲しかった。

約20年前までは、当クラブにも青少年奉仕委員会があったが、今後青少年奉仕を通じて次世代の人たちと会って話を聞き共に行動する事でロータリーの精神、倫理観を伝えるメリットもある。

青翔開智との連携やスポーツ振興をしてはどうか。

* 第2班 リーダー山根会員・世話人 森原会員
○当クラブがガバナー受けるのにあたって青少年奉仕について勉強しておく必要がある。

○青少年奉仕に関係した会員がいないので縁遠い。従って何も無い所からは何も生まれない。

○会員の個性を活かしたクラブにすれば良いので、無理やり青少年奉仕活動をしなくても良いのでは。

○青少年奉仕を実際に行っている他クラブより卓話をお願いしてみてもどうか。

* 第3班 リーダー山田会員・世話人 牧浦会員
当クラブには苦手なテーマであるが、今では5

大奉仕が掲げられている以上、岩崎ガバナー年度には、何かしら取り組んでいかなければならない。

今まで個々に奉仕はしてきたが、多くの青少年に奉仕する事はできていなかった。然しながら結果的に「青少年奉仕」に繋がっている。

何にニーズがあるのか、求めるものを聞きインターアクト、ローターアクトを行っているクラブに聞き、共に青少年奉仕を行うのも一つの手ではないか。また、青少年は海外留学する事で見違えるほど成長し彷徨する10代から20代の青春時代に彼らの「心」にインパクトを与えるような経験、講演等の機会を与えてはどうか。

* 第4班 リーダー内山会員 世話人 伊藤会員
○継続事業として5つの奉仕の一つである「青少年」事業についてクラブとして参画していくべきである。(過去は単年度としての参加が中心) ○できる、できない、難易度が高いではなく、ガバナー年度を迎えるに当たり熱量高くやっ

ていこう。
○インターアクト(高校生) 事業へ県内3高校において継続事例がある。

○青翔開智など私学との連携を模索すれば魅力的な方向性も見いだせる可能性がある。

○社会奉仕委員会からの提案があつて動いていくことがスマートであろう。

* 第5班 リーダー森会員 世話人 市場会員
以前はRYLAに参加していたが、長い間参加していないのが現況。

当クラブは国際親善奨学生・GSEプログラムとして、タイやアメリカ・ヨーロッパ、スコットランドに留学生を送った事がある。

インターアクトは継続が難しいので、青少年を育てるにはシステムやマニュアルが必要となる。

留学という貴重な体験した方の話を聞くと語学力はもちろん、人として大きく成長して戻ってきている。

ガバナー年度に向けて青少年奉仕のベースづくりを行う為に地元の子どものとの交流を計り、青少年から希望を聞くなどして相撲留学の支援やスポーツ大会の振興と親睦を深めてはどうか。

* 第6班 リーダー伊木会員 世話人 千馬会員
インターアクト・ローターアクト設置の懸案事項
高等学校などを中心にインターアクトの設置など推進しても良いが、青少年にRCの意義、精神、ルールとか伝わらないのではないか。

学生が卒業、進級してメンバーも変わる、委員長も年々変わるので伝承が難しい。転勤が無い私立学校が良いのでは。

具体的に事業を進める為の提案

学校の垣根を越えた地域などのグループを編成し、能力がある青少年に夢が持てるような高校生バンド・プロゴルファー養成・スキューバダイビング・山登り等々夢が持てる場の提供。青少年に一般常識を教えたり、ネット・金融・情報・労働各リテラシーに係る知識を提供できる場の設置。

次週例会予定

2019年10月4日(金)第1867回例会

卓話 元米山奨学生 蔡 卓乗さん

(編集者 金田 卓也)